

# 予算が厳しい？ ユーザーエクスペリエンスを損なわずに IT コストを削減する方法

オンライン勤務の割合が高まるにつれて、組織における IT チームの重要性が増しています。IT チームの責任が、従業員や顧客のシームレスなエクスペリエンス、ネットワークの保護、効率的な業務運営を図ることであるからです。大半の組織においてインフラストラクチャが複雑になり、グローバルサプライチェーンの問題が続き、リモートワークが増え、デバイスコストが上昇しており、このような責任の重みも増えています。

それに関わらず、IT チームの予算は厳しさを増し、コストの上昇に追いついていません。時には予算の削減に直面することすらあります。実際、ガートナーの<sup>®</sup>「クイックアンサー: エンドポイント費用のインフレに対して IT リーダーができること」(2022 年 10 月)では、「調査対象となった IT リーダーの 73%が支出削減やコスト合理化を模索するよう求められ」ています<sup>1</sup>。一方で、同レポートでは「インフレとサプライチェーンの問題のために、デバイス費用は 2021 年初頭から 20%も増加している」ことも明らかになっています。また、ガートナーはパブリッククラウドサービスに対するエンドユーザーの支出が 2023 年には 20.7%増加するとも予測しています(「予測: 全世界のパブリッククラウドサービス、2020~2026 年、2022 年第 3 四半期最新情報」)。その結果、IT リーダーはエンドユーザーエクスペリエンスやデジタルトランスフォーメーションの取り組みといったものに影響を与えずに、コスト削減できる戦略的な分野を探し出すことを余儀なくされています。

コストを削減しつつ、より多くのタスクをこなすというプレッシャーを和らげるために、IT チームは効率性を高め、合理化できる領域を社内ですべて探していく必要があります。もちろん、言うは易く行うは難し、という場合もあるでしょう。

しかし、IT チームが適切なツールを手に入れば、実際のユーザーエクスペリエンスやデバイスのパフォーマンス、ネットワーク利用率やクラウドトラフィックに関して必要な可視性を得ることができます。肥大化しているものを見つけだし、非効率な分野を浮き彫りにして、ビジネス全般にわたって戦略的に IT コストを削減していくためです。

このホワイトペーパーでは、IT のプロフェッショナルが直面している課題を掘り下げ、リバーベッドのアクセラレーションポートフォリオである Alluvio Aternity デジタルエクスペリエンス管理 (DEM)、Alluvio ネットワークパフォーマンス管理 (NPM) を通してデバイスやソフトウェア、クラウドやネットワークのコスト削減につなげていく方法についてご紹介します。

<sup>1</sup>2022年のガートナーによる景気後退に関する中間調査が、2022年7月7日から7月末までオンラインで実施されました。移行行くビジネス環境において、リーダーが支出パターンや支出行動をどのように変化させているのかを把握することがこの調査の目的です。116名からの回答を得ましたが、そのうち62名がITおよびビジネスリーダー、43名が人事リーダー、11名がガートナーが管理しているパネルであるGartner's Research Circle (ガートナー調査サークル)のメンバーを務めるCIOでした。調査回答者の出身は北米(71名)、EMEA(30名)、アジア太平洋(12名)、南米(3名)でした。

免責事項: 本調査の結果はグローバルの調査結果や市場全体を表したのではなく、回答者や調査対象企業の心理を反映したものです。

## 複雑さが増す 現在の IT インフラストラクチャ

ハイブリッド勤務の環境が増え、SaaS やハイブリッドクラウドインフラストラクチャが今まで以上に普及する中で、昨今の IT インフラストラクチャはさらに複雑化しています。予算の制約が厳しくなる中で、このような状況のために IT プロフェッショナルの仕事はますます難しくなっています。

## ハイブリッド勤務と完全リモート勤務への転換

多くの組織が現在、ハイブリッドや完全リモートの従業員を支援しています。新型コロナ流行初期に、多くの企業はこのようなモデルを慌てて取り入れました。その際、多くの企業では、新たなハイブリッドまたはリモートの従業員に対応するために、デバイスやソフトウェア、ネットワークを十分に更新することに苦戦しました。その結果、ハイブリッドの仕事環境で働く従業員に整合性のあるデジタルエクスペリエンスを継続して提供しようとする中で、多くの IT チームは人員が不足したまま仕事量に圧倒され、いまだに古いソフトウェアや劣化したデバイスに苦勞しています。

## SaaSとハイブリッドクラウドインフラストラクチャ

組織が順応と成長を遂げる中、多くの組織は SaaS やハイブリッドクラウドインフラストラクチャに移行しようとしています。このようなインフラストラクチャを利用すると、従業員は世界中のほぼどこにいても働くことができ、オペレーティングシステムやアプリケーションを迅速に展開することが可能になります。

しかし現在、こうしたシステムはオンプレミスのデータセンターとプライベート/パブリッククラウドを組み合わせたものになっています。これらのアセットを可視化するのは難しく、パフォーマンスや利用率のモニタリングも容易ではないことが多いと言えます。SaaS は一般的に IT サポートのコスト全般の削減につながりますが、可視性がなくモニタリングできなければ、未利用のライセンスや不要な支出につながることもあります。

ハイブリッドやリモートワークへの移行や、SaaS やハイブリッドクラウドインフラストラクチャの採用が進んだため、インフラストラクチャがモニタリングや追跡が難しいデバイスを含むより複雑なものになってきています。その結果、整合性を保ち高品質なユーザーエクスペリエンスを生み出すことに IT チームは苦戦することになります。ライセンスの追跡やその他のコスト削減の取り組みは挫折しがちです。多くのチームに、インフラストラクチャのパフォーマンスを適切にモニタリングできるツールが備わっていないためです。

## IT アセットのコスト上昇と IT 予算の低下

2022 年 10 月に発表されたガートナーのプレスリリースによると、世界全体の IT 支出は 2023 年に 5.1%増加すると予測されています。

## ITアセットのコスト上昇の理由

インフレが経済全体に影響を与えていますが、IT アセットのコストはインフレよりも速いペースで上昇しています。また、デバイスや部品の供給低下につながるサプライチェーンの問題も続いており、エネルギーコストは上昇しています。さらに、強いドルのために海外の消費者にとって米国製品はさらに高額なものになっています。このような状況が重なった結果、アセット価格の上昇が起きているのです。

さらに、**技術的負債が迫っている**という問題もあります。この 2 年間、組織はさらに多くのテクノロジーを取り込んでビジネスプロセスを迅速に変革してきましたが、システムを戦略的かつ効率的に設定するための十分な検討をしないままその変革を進めてきました。その結果、多くの組織はいったん立ち戻って、すべてのものが適切に設定されていることを確認する必要に迫られており、これがコストにつながっています。

## IT予算の制約に対する不満

IT アセットのコスト上昇と同時に、IT リーダーは IT の総予算の制約にも直面しています。その理由として以下のようなさまざまな社内外の問題が挙げられます。

- **人件費の高騰。**2022年のTechCrunch調査では、組織が前年比6.7%増のIT支出を予測していることが報告されました。ワークフローの最適化につながるテクノロジーへの投資をITが希望することに疑いはありませんが、一方で、高騰が進むIT人材への支出を増やさざるを得なくなっています。
- **世界経済の不透明感の継続。**ガートナーによると、「インフレとサプライチェーンの問題のために、デバイス費用は2021年初頭から20%も増加」しています。世界的に経済の不透明感に継続して対処する中で、ITチームには引き続き厳しい予算や保守的な支出が見込まれます。
- **オンプレミスのITインフラストラクチャやパブリッククラウド支出の上昇を受けた設備投資予算の減少。**ITの意思決定に関わる担当者は、**設備投資予算の13%の減少**を報告しています。クラウドへ継続的に移行する際、短期的にはコストの高いオンプレミスのITインフラストラクチャとクラウド/サブスクリプションサービスの両方を維持するためです。クラウドへの移行は長期的にはコストの合理化につながりますが、現時点では両方のインフラストラクチャに支出することで予算が食い尽くされています。

IT リーダーは従業員のデジタルエクスペリエンスを犠牲にしないで支出を削減しようとしています。IT アセットのコスト上昇に加えてIT 予算の制約が同時に発生していることで、このミッションはさらに難しくなっています。これを達成する方法として、ハードウェアデバイスの更新プログラムの最適化、フル活用されていないソフトウェアライセンスにかかる不要な支出の削減、無駄なクラウドトラフィック削減に向けたクラウドトラフィックのモニタリング、ネットワーク帯域幅利用の合理化などが挙げられます。これらのすべてに対処することは途方もないことに感じられるかもしれませんが、リバーベッドの IT ソリューションを利用するとこれが可能になります。

## ユーザーエクスペリエンスを損なわずに肥大化した IT コストを削減

IT アセット管理向けの他の多くのソリューションとは異なり、リバーベッドのソリューションを利用すると、企業の IT 組織はビジネス全体において過剰な IT コストを回避できるようになります。従業員のデバイスやアプリケーションから、ネットワークやクラウド帯域幅のコストに至るまで、リバーベッドのソリューションでは実際のユーザーエクスペリエンスやネットワーク利用率、クラウドトラフィックに対する知見が提供され、不要な支出を特定することができます。

デバイスやアプリケーションをモニタリングする Alluvio Aternity デジタルエクスペリエンス管理 (DEM)、クラウドやネットワークインフラストラクチャを最適化できるリバーベッドアクセラレーションおよびネットワークパフォーマンス管理 (NPM) のポートフォリオを利用して、IT チームはインフラストラクチャに関する深い知見や可視性を得ることができます。

これらのツールを貴社の組織でご活用いただける方法を見てください。

## Alluvioのデジタルエクスペリエンス管理

Alluvio Aternity DEM では、ユーザーエクスペリエンスに関する実行可能な知見が得られます。組織はそれを活用してすべてのデバイスやアプリ、クリックについて簡単に深く考察することができます。これが、より情報に基づいた意思決定や収益の向上につながります。次のような利点があります。

- **デバイスパフォーマンスを改善しつつコストをコントロール:** リソース利用率の高いデバイスを見つけ、完全なデバイスリストや問題を確認し、未利用の、またはフル活用されていないライセンスを排除して、ITコストを低減します。

- **スマートデバイスの更新:** 従来、チームはデバイスの寿命を更新時期の目安にしていました。しかし、それではデバイスの実際の健全性やパフォーマンスが考慮されません。Alluvio Aternity DEMを利用すると、実際のユーザーエクスペリエンスに対する知見が得られるため、情報に基づいた意思決定を下しやすくなり、パフォーマンスが思わしくなくなったときにデバイスを交換できるようになります。デバイスの寿命ではなく、ユーザーエクスペリエンスに基づいてデバイスを交換するターゲットを絞ったデバイス交換により、コストが削減されます。
- **ライセンスの排除:** 2020年SaaSのトレンドに関するレポートによると、ソフトウェアのライセンスを含めたSaaSツールについて、未利用の、あるいはフル活用されていない、または重複しているものに対して、平均的な企業は毎年13万5,000ドル以上も無駄にしています。Alluvio Aternity DEMを利用すると、特定の期間にほとんど、あるいは一切使われていないライセンスを簡単に把握することができます。これは、組織がライセンスを削除または移転させる際に役立ちます。

## リバーベッドのアクセラレーションとNPMのポートフォリオ

Alluvio のネットワークパフォーマンス管理では、ネットワークに関するエンドツーエンドの可視性が得られ、ハイブリッド環境全体で発生している状況のモニタリング、トラブルシューティング、分析を容易に行うことができます。

リバーベッドの Alluvio ネットワークパフォーマンス管理ポートフォリオを利用すると、ハイブリッドネットワーク全体において詳細な可視性が生まれ、ネットワークやサーバー、アプリケーションやクラウドネイティブ環境に関する知見を得るための忠実なデータを取得できます。

拡大を続けるポートフォリオには、現在 Alluvio NetProfiler が含まれています。これは詳細なトラフィックに関する知見を提供するもので、無駄なネットワークやクラウドの支出を特定するのに役立ちます。一方で、リバーベッドのアクセラレーションポートフォリオを活用すると、クラウドアクセラレータを使ったデータ転送の合理化により、組織のデジタルエンタープライズ全般にわたってネットワークとクラウドのコストを大幅に削減することが可能です。

- **Alluvio NetProfiler**ではネットワークフローのモニタリングが可能であり、クラウドトラフィックのパターンを含め、ネットワークで発生しているコミュニケーションについて全体像を把握することができます。これにより、効率的なキャパシティのプランニングが可能になり、帯域幅の要件を最大で99%削減することができます。
- **クラウドアクセラレータ**を利用すると、ネットワーク全体で送信されるデータを削減することができます。重要度に応じてトラフィックの優先順位が設定され、IaaSでホストされたアプリケーションとの往復トラフィックが削減されるため、データ、転送ポート、アプリケーションが合理化され、クラウドからの転送コストが大幅に削減されます。

これらのソリューションには、IT インフラストラクチャ全体においてエンドツーエンドでコスト削減の知見を得られるという強みがあります。多くの場合、IT チームは非常に多くの時間と資金を費やして、複数のプロバイダーからさまざまな独立したソリューションを探しており、導入や学習のためにさらに時間をかけています。しかし、リバーベッドのソリューションポートフォリオはコスト効率が高く、導入が簡単です。また、ソフトウェアがさらに肥大化する可能性や、非効率なソリューションの追加に伴う技術的負債を排除することもできます。

## リバーベッドの IT アセットコスト削減ソリューションで資金を節約

IT チームがアセットコスト削減に取り組むにあたって、多くの場合、デジタルトランスフォーメーションの取り組みを犠牲にせざるを得なかったり、ユーザーエクスペリエンスの低下につながる削減を迫られます。幸運なことに、リバーベッドが提供している俊敏性の高いソリューションを利用すると、ソフトウェアの肥大化、未利用のライセンス、不十分なネットワークパフォーマンス、無駄なクラウド支出といった、よくある IT コストの問題に機敏に対応することができます。

IT インフラストラクチャを最適化して資金を節約しつつ、情報に基づいた意思決定を下すのは容易なことではありません。

ご自身でお確かめいただくために、[無料のトライアル](#)を今すぐお試しください。

GARTNER は米国及びその他の国における Gartner, Inc.および/またはその関連会社の登録商標及びサービスマークであり、ここに記載された情報はその許可のもとで使用されています。All rights reserved.



リバーベッドはネットワークやアプリからエンドユーザーに至るまで豊富なテレメトリーを取りそろえた唯一の企業で、あらゆるインタラクションを明らかにした上で高速化します。これにより、組織はシームレスなデジタルエクスペリエンスを提供し、エンタープライズのパフォーマンスを向上させることができます。リバーベッドは業界最先端のソリューションを2つのポートフォリオで提供しています。リバーベッドのAlluvioは、差別化された統合オペレータビリティのポートフォリオで、IT全般にわたってデータ、知見、アクションを統合します。これにより、お客様はシームレスで安全なデジタルエクスペリエンスを提供することができます。リバーベッドアクセラレーション (Riverbed Acceleration) は、高速性、俊敏性に優れた安全な高速化をあらゆるアプリ、あらゆるネットワーク、あらゆる場所のユーザーにお届けします。何千社にも上るパートナー、そしてフォーチュン100構成企業の95%を含む市場最先端のグローバルなお客様とともに、当社はあらゆるクリック、あらゆるデジタルエクスペリエンスを強化しています。リバーベッド。エクスペリエンスを強化。詳細は、[jp.riverbed.com](http://jp.riverbed.com)をご覧ください。MSHD-932\_IT-ACR\_WP\_US\_021023